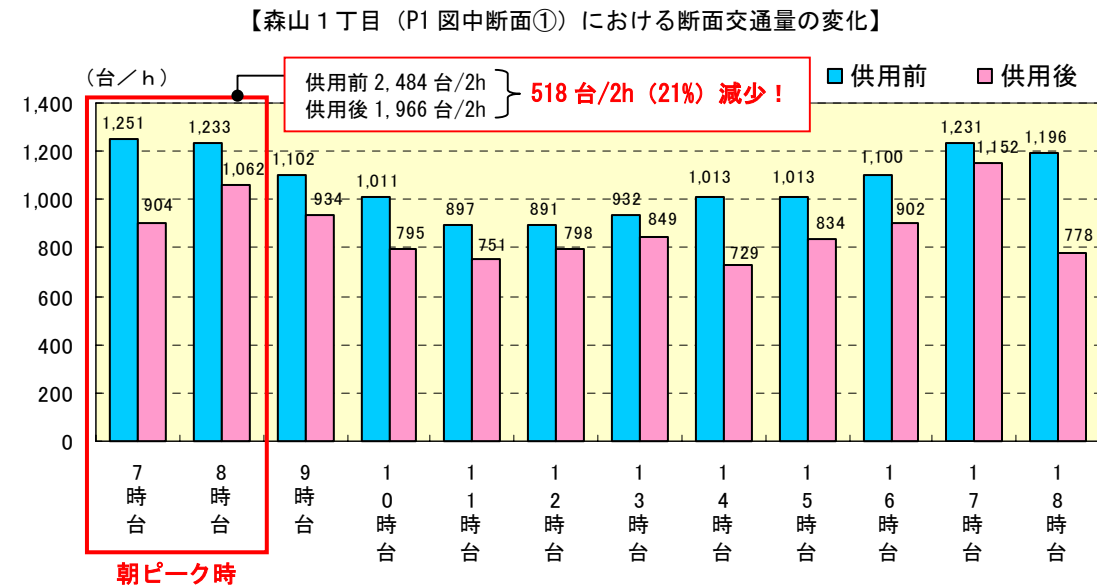


■資料4：断面交通量の変化

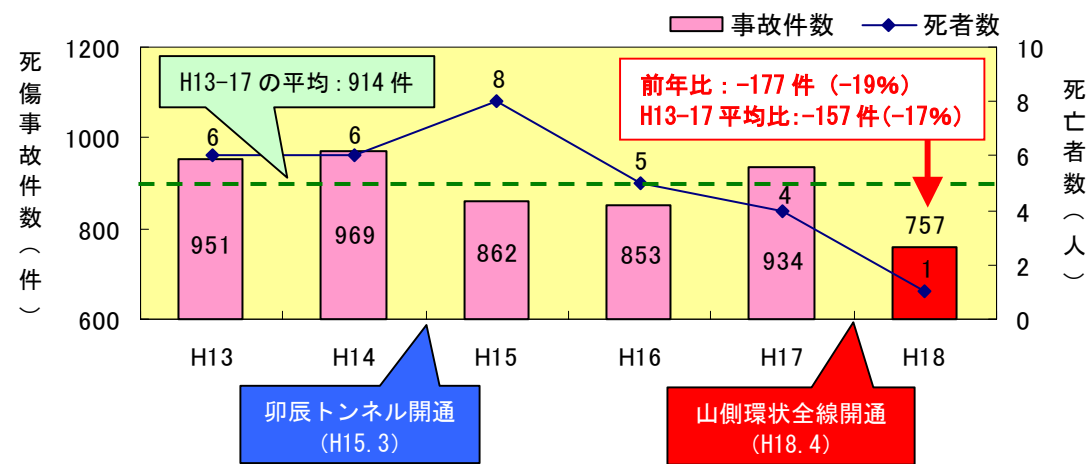
◇山側環状全線供用後、対象区間では自動車交通量が約2割減少。



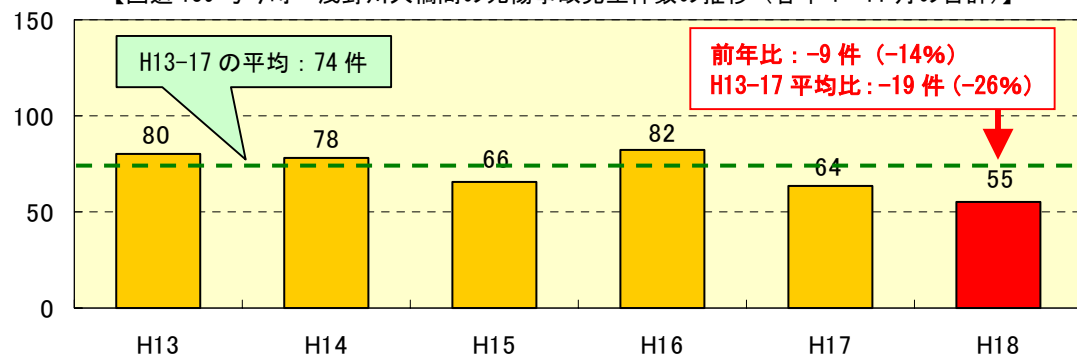
■資料5：交通事故件数の変化

- ◇山側環状全線供用に伴い、金沢東署管内の事故件数（4～11月の合計件数）が前年（H17）比で177件（19%）減少、H13～17の5カ年平均値に対しては157件（17%）減少。
- ◇山側環状の並行路線である国道159号今町～浅野川大橋間でも減少。
- ◇金沢東警察署管内では、山側環状の全線供用により、幹線道路である国道159号をはじめ、生活道路での事故件数が減少していると言える。

【金沢東警察署管内の死傷事故発生件数の推移（各年4～11月の合計）】



【国道159号今町～浅野川大橋間の死傷事故発生件数の推移（各年4～11月の合計）】



■資料6：歩行者・自転車交通量

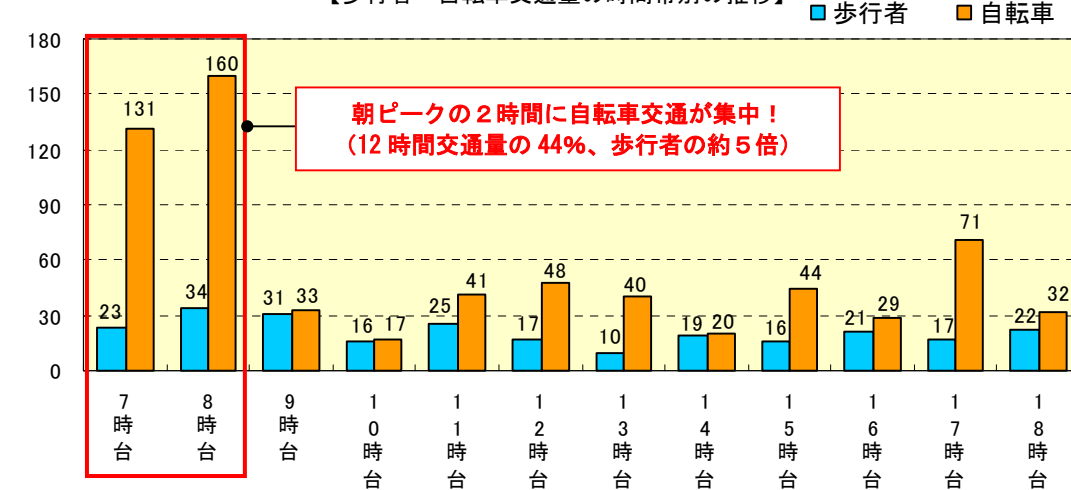
◇対象区間では自転車交通が多く、特に朝ピーク時（7～9時）に集中。

【対象区間の歩行者・自転車交通量（平日）】

時間帯	計測方向	歩行者(人)	自転車(台)	合計(人・台)
7～19時 (12h)	上り(金沢市街→津幡方面)	120	330	450
	下り(津幡方面→金沢市街)	131	336	467
	12時間計…A	251	666	917
7～9時 (2h)	上り(金沢市街→津幡方面)	29	136	165
	下り(津幡方面→金沢市街)	28	155	183
	朝ピーク時計…B	57	291	348
12時間に対する朝ピーク時の割合(B/A)		22.7%	43.7%	37.9%

平成18年6月29日（木）における森山1丁目での計測結果

【歩行者・自転車交通量の時間帯別の推移】



■資料7：朝のバスレーン指導範囲の拡大～国道159号鳴和一橋場間も対象に～

◇金沢市・県警・北陸鉄道は9/25（月）から、毎月第四月曜日の「順守指導・取り締まり強化の日」の指導範囲を拡大。

◇対象区間（山の上～浅野川大橋交番前）を含む国道159号鳴和一橋場間も指導強化の対象となり、バス専用レーンへの一般車両の進入がより一層抑制され、自転車のバスレーン左側走行の安全性が担保されるものと考えられます。

朝方専用バスレーン 指導範囲を拡大

北陸鉄道 北陸鉄道 北陸鉄道

北陸鉄道は、今年度から、毎月第四月曜日の「順守指導・取り締まり強化の日」の指導範囲を拡大する。対象区間は、山の上～浅野川大橋交番前を含む国道159号鳴和一橋場間も指導強化の対象となる。バス専用レーンへの一般車両の進入がより一層抑制され、自転車のバスレーン左側走行の安全性が担保されるものと考えられます。

市によれば、四～八月の指導状況を見ると、武蔵ヶ辻片町でのバスレーン時間帯（午前七時半～同九時）は、一般車両の走行禁止が概ね守られているが、都心部周辺のレーンでは一般車両が走行するケースが後を絶たないという。

このため、新たに金沢市東、西警察管内で、力所すつ重点指導地域を指定し、対策を強化する。平日夕方のバスレーン時間帯（午後五時～同六時半）は、市の委託で警備員が配置されている。

北國新聞（平成18年9月22日（金）、朝刊、38頁）より